

2018年7月31日（火）

愛知黎明高等学校（弥富市）の地域探究コース2年生のみなさんがトヨタケ工業に来社されました。

あらゆる視点から地域を元気にする方法や街づくりについて学ばれています。今回は足助・稲武地区に出向き、そこに住む人や働いている人から地域の文化や環境・雇用について学び、弥富市の20年後を見据えた街づくりを考えるとのこと。弊社では自動車部品の製造や「OPEN INABU」の取り組みなどをご紹介させていただきました。

「OPEN INABU」・・・
稲武での生活に関心をもってもらうことを目的に
「OPEN FACTORY」（工場公開）
「OPEN FARM」（就農体験）
「OPEN HOUSE」（空き家に住む）
をキーワードに取り組んでいる
移住促進プロジェクト

弊社社長横田より、会社概要、稲武という地域、そしてモノづくりの現場で行われている2S（整理・整頓）についてお話をしました。生産性が求められるモノづくりの現場では、2Sが徹底されています。それは、「探すこと＝ムダ」と考えるためです。整理、整頓の違いやルールを学んでいただきました。学校生活でも取り入れていただければと思います。

また地域活性化のために取り組む「OPEN INABU」についても紹介しました。「OPEN INABU」が提案する週の半分は会社で働き、週末は山を案内するツアーガイドとして働き、残りを休日にするという新しい就労スタイル。

みなさん驚きながらも、興味深く聞き入っているようでした。稲武と弥富の今後の可能性について考えるきっかけになればと思います。



夕食のバーベキューに弊社社員も参加させていただきました。
今回の合宿のまとめは夏休み明けの授業で行うとのこと。今回の学びがみなさんの今後の糧になることを願っています。



会社見学の後は、豊田市と設楽町の境を通る面ノ木峠へ。この日の稲武は猛暑日でしたが、面ノ木峠はなんと24度！半袖では肌寒さを感じる程でした。稲武の魅力の一つである自然を感じていただけたと思います。

工場見学チーム、ワークショップチームに分かれ、弊社について理解を深めていただきました。
ワークショップチームはパンケースづくりに挑戦しました。ミシンに触れるのは小学生以来だという方も！「難しい！」という声も聞こえましたが、全員無事に完成しました。世界に一つだけのパンケース、気に入っていただけたようです。

